

2025 年度 産業向け財・サービスの内外価格調査

令和 8 年 4 月 28 日
経 済 産 業 省
経済産業政策局調査課

経済産業省では、我が国の価格構造の実態把握の一環として、1993 年以降、産業向け財・サービスの内外価格調査を行っており、以下のとおり 2025 年度調査の結果を取りまとめた。

1. 結果の概要

- 2025 年度調査における内外価格差は、米国 1.15 倍、中国 2.33 倍となった。米国との 1.15 倍の内外価格差は、日本での価格が円換算した米国での価格の 1.15 倍になり、日本での価格の方が高いことを意味している。(以下の内外価格差の倍数は、同様の意味である。)2か国とも日本での価格が円換算した海外での価格を上回っていた。
- 「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較(産業向けサービス/工業製品等)すると、米国については、工業製品等の内外価格差が産業向けサービスのものを上回っていた一方、中国については、産業向けサービスの内外価格差が工業製品等のものを上回っていた。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象国 : 米国、中国
- (2) 調査対象品目 : 工業製品等 180 品目、産業向けサービス 49 品目
- (3) 調査時点 : 2025 年 7~9 月
- (4) 調査価格 : 需要家渡し価格(一部、工場出荷価格等)
- (5) 為替レート : 2025 年 7 月~9 月における各国の平均為替レート

為替レート出所

・対米国	1ドル	=	147.51 円	(Federal Reserve Board)
・対中国	1元	=	20.64 円	(State Administration of Foreign Exchange)

3. 調査結果

(1)内外価格差の現状

－内外価格差は、米国が 1.15 倍、中国が 2.33 倍－

総合の内外価格差は、米国 1.15 倍、中国 2.33 倍となった。

また、「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較してみると、米国は工業製品等の内外価格差が産業向けサービスのものを上回り、中国は産業向けサービスの内外価格差が工業製品等のものを上回った。

表1 分野別・業種別の内外価格差

(単位：倍)

	米国	中国
総合	1.15	2.33
工業製品等	1.18	1.89
素材	1.10	1.99
加工・組立	0.93	2.63
エネルギー	1.52	1.13
産業向けサービス	1.10	2.95
産業向けサービス ／工業製品等(倍)	0.93	1.56

$$\text{内外価格差} = \frac{\text{日本での価格（円）}}{\text{海外での価格（現地通貨）} \times \text{為替レート（円／現地通貨）}}$$

(2) 購買力平価の現状

－購買力平価は、対米国が 169.34 円／ドル、対中国が 48.10 円／元－

総合の購買力平価は、対米国が **169.34** 円／ドル、対中国が **48.10** 円／元となった。

また、分野別にみると、「工業製品等」の対米国の購買力平価は 174.47 円／ドル、対中国の購買力平価は 39.04 円／元であり、「産業向けサービス」の対米国の購買力平価は 162.15 円／ドル、対中国の購買力平価は 60.80 円／元である。

表 2 分野別・業種別の購買力平価

(単位：円／現地通貨)

	米 国	中 国
総合	169.34	48.10
工業製品等	174.47	39.04
素 材	161.84	41.08
加工・組立	137.29	54.19
エネルギー	224.92	23.38
産業向けサービス	162.15	60.80
2025年7月～9月における 各国の平均為替レート	147.51	20.64

(注) 現地通貨は、米国：ドル、中国：元。

$$\text{購買力平価} = \frac{\text{日本での価格（円）}}{\text{海外での価格（現地通貨）}}$$

(3)内外価格差の推移(総合)

－総合の内外価格差は、米国、中国ともに拡大－

総合の内外価格差を前回と比較すると、米国に対しては 0.02 ポイント拡大、中国に対しても 0.18 ポイント拡大となった。

購買力平価は米国、中国ともに減価となった。

表3 内外価格差、購買力平価、為替レートの前回比較

内外価格差(総合)	(倍)	
	米国	中国
2024年度	1.12	2.15
2025年度	1.15	2.34
差	0.02	0.18

購買力平価(総合)	(円/現地通貨)	
	米国	中国
2024年度	167.06	45.08
2025年度	168.99	48.26

為替レート	米国	中国
	円/ドル	円/元
2024年度	148.91	20.92
2025年度	147.51	20.64

注) 2021年度から2025年度の5回の調査において、各年度共通して価格データを入手できた品目を対象とし、さらにその間に品目のスペック内容が大きく変わったものについては、時系列比較の上で対象から除外することを原則としているため、「表3 内外価格差、購買力平価、為替レートの前回比較」において説明する内外価格差及び購買力平価の数値は、必ずしも「表1 分野別・業種別の内外価格差」及び「表2 分野別・業種別の購買力平価」の数値とは一致しない。

(4)内外価格差の推移(工業製品等)

－工業製品等の内外価格差は、米国は縮小、中国は拡大－

工業製品等の内外価格差を前回と比較すると、米国は0.02ポイント縮小した。中国は0.03ポイント拡大した。

また、購買力平価は、米国は増価し、中国は減価となった。

表4 工業製品等の内外価格差、購買力平価の前回比較

内外価格差（工業製品等）	（倍）	
	米国	中国
2024年度	1.20	1.86
2025年度	1.18	1.89
差	▲ 0.02	0.03

購買力平価（工業製品等）	（円／現地通貨）	
	米国	中国
2024年度	179.25	39.01
2025年度	174.47	39.04

(5)内外価格差の推移(産業向けサービス)

ー産業向けサービスの内外価格差は、米国、中国ともに拡大ー

産業向けサービスの内外価格差を前回と比較すると、米国は 0.11 ポイント、中国は 0.32 ポイントそれぞれ拡大した。

購買力平価は、米国、中国いずれも減価となった。

表5 産業向けサービスの内外価格差、購買力平価の前回比較

内外価格差 (産業向けサービス)	(倍)	
	米国	中国
2024年度	0.98	2.65
2025年度	1.09	2.96
差	0.11	0.32

購買力平価 (産業向けサービス)(円/現地通貨)

	米国	中国
2024年度	146.34	55.40
2025年度	161.30	61.18